

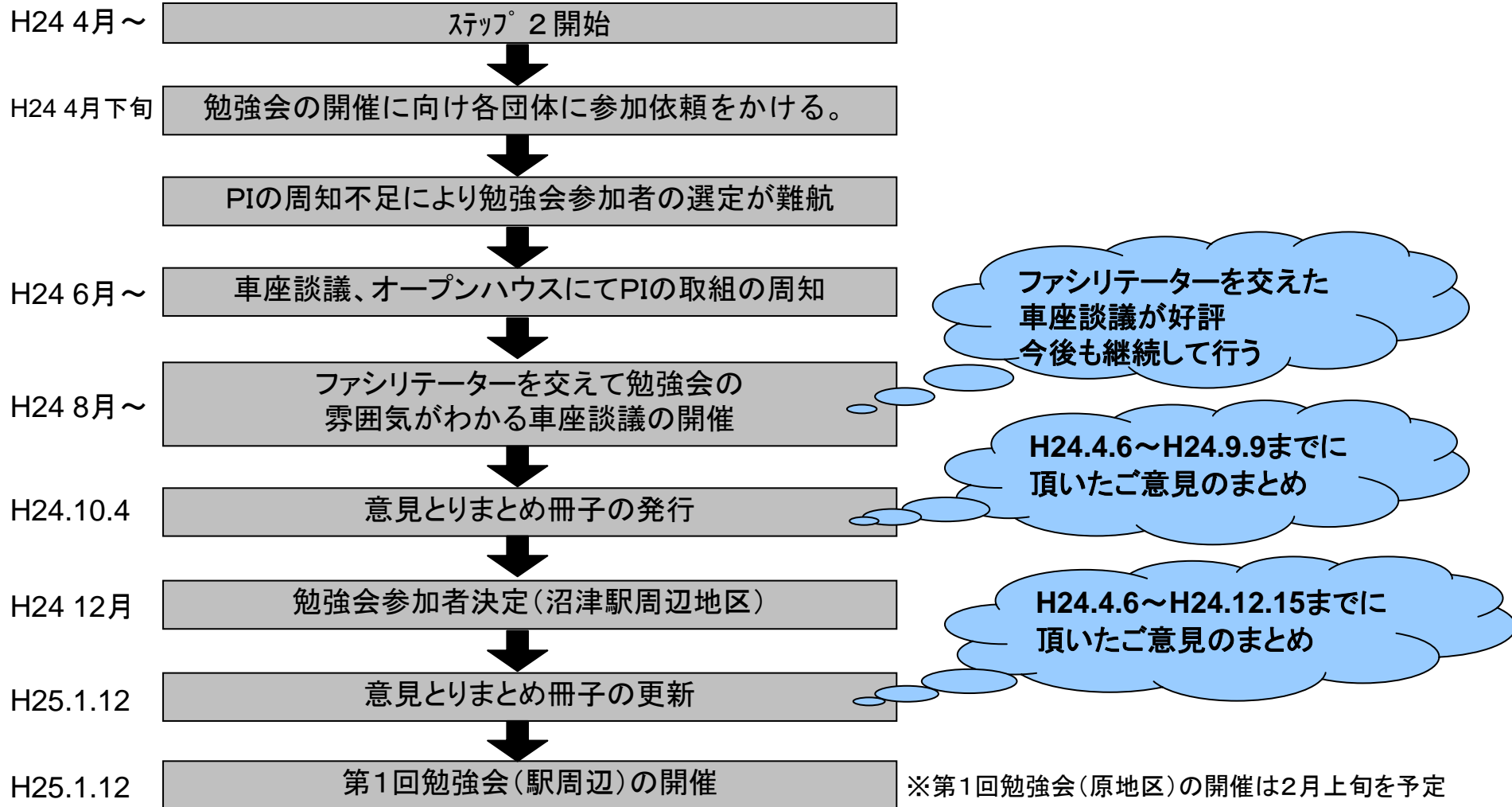
沼津高架P Iプロジェクト



勉強会について

【第7回P I委員会】

開催までの経過

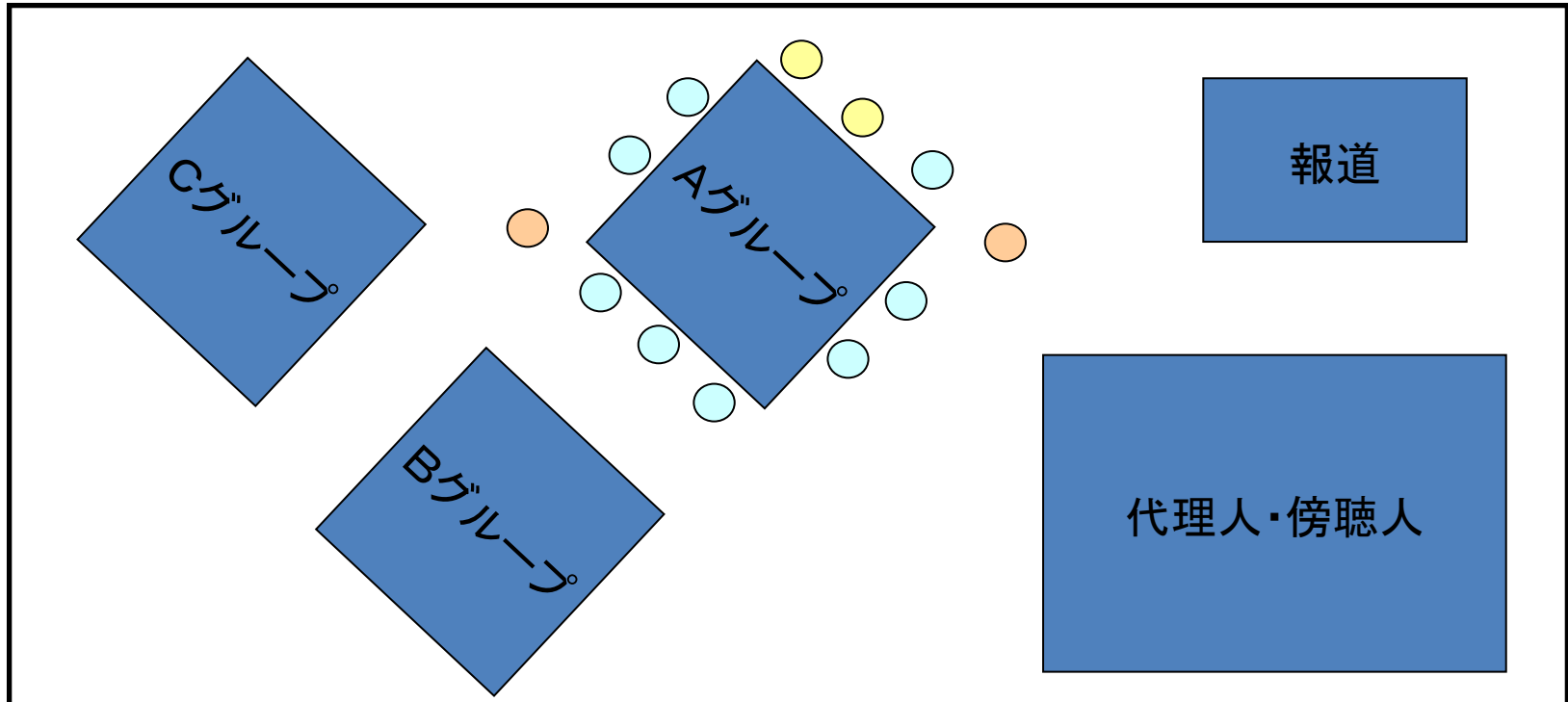


勉強会(駅周辺)参加者構成

No	団体名	勉強会 構成	第1回 (1/12)
1	郷土を愛する会	1	1
2	NPO法人 駿河地域経営支援研究所(SIDAM)	1	1
3	チェンジ沼津	3	3
4	鉄道高架化を見直す沼津市民の会	3	3
5	沼津市商店街連盟	2	2
6	沼津商工会議所(推薦)	3	1
7	沼津青年会議所	5	5
8	東駿河湾まちづくり研究会	3	3
9	富士見町自治会 沼津駅周辺総合整備事業対策委員会	1	1
10	フレッシュ沼津	3	3
		25	23

進め方

ファシリテーターの進行のもと参加者を3つのグループに分け実施
各グループ(参加者7~8名、ファシリテーター1名、記録者1名、事務局2名)



- 参加者
- ファシリテーター・記録者
- 事務局



勉強会参加にあたって

①前向きな思考で発言しよう

同じ地域に住む住民として、より良い地域づくりに向けて、合意できる点を探り、前向きな議論をしていきましょう。

②話し合いに積極的に参加しよう

参加した皆さんで意見を出し合いきましょう。

③自分の考えを素直に意見を述べよう

組織や団体の主張ではなく、自分の考えや伝えたいことを遠慮なく本音で伝えましょう。

④他の人の意見に耳を傾けよう

自分とは異なる意見であっても、その人の主張も聞いてみましょう。

⑤気持ちよく会議を運営できるよう、協力し合おう

限られた時間を有効に活用するために、タイムスケジュールに沿って進める努力をしましょう。

記録について

①開催状況のため、写真を撮影する

ホームページやニュースレター等で勉強会の実施概要を知らせる。
なお、掲載にあたっては、肖像権に配慮する。

②PI委員会がPIプロジェクトを監視・助言・評価するため、 ビデオ撮影と録音をする

ただし、参加者の自由な議論を妨げないため、動画は作業用資料としてのみ使用する

③勉強会の結果を公表する

ステップごとの勉強会結果(要旨)を公表の対象とする。

勉強会(駅周辺)第1回 プログラム

日時:平成25年1月12日(土)13:30~16:30

会場:東部総合庁舎別棟2F会議室

主催:沼津高架PIプロジェクト・PI運営事務局

1. 開会
2. 沼津高架PIプロジェクトと勉強会の設置について
3. 勉強会の進め方について(議題1)
4. 地域づくりの目標について(議題2)
5. 今後の予定について
6. 閉会

【議題1】勉強会の進め方について

- 勉強会に参加するに当たって、期待していること
- 勉強会の目的と進め方について、不明な点・意見・提案
- PIプロジェクトについての質問・意見・提案 など

意見を出し合う

勉強会の進め方について共有

【議題1】勉強会の進め方について(内容)

①勉強会の進め方(15分)

ファシリテーターが勉強会の進め方について説明

②グループ検討(20分)

各グループごとに検討

(参加者約8名、ファシリテーター1名、書記1名、県職員2名 計12名)

③グループ検討の結果発表(15分)

各グループのファシリテーターが結果発表

ファシリテーターの統括(井上さん)が結果をまとめる。

議論で出た概要

- ・目標に立ち返って議論ができる。
- ・鉄道高架の必要性に短絡してしまわないか。
- ・判断が先延ばしされるのではないか。
- ・議論の元になるデータがほしい。



【議題2】地域づくりの目標について

沼津駅周辺地区は
どのような地域であって
欲しいでしょうか？

地域づくりの目標に関する整理

1. 誰もが暮らしやすく（暮らし）

1-1 誰もが支えあえる街に

・地域コミュニティが充実し、子供から子育て世代から高齢者までの様々な世代が集まって暮らし、様々な場面で相互に支えあいながら暮らせる

地域づくりの
目標に関する
整理

- | | |
|---|---------|
| ■子育て世代やあらゆる世代にとって安心安全で住みやすく、満足度の高いまちづくりをし、人口の増加を図ってほしい。 | 2010208 |
| ■若者が集まり、働き遊ぶ場所がある、若者にとって住みやすいまちにしたい。 | 2010210 |
| ■まちなかに人が住み、快適に生活できる環境を整えてほしい。 | 2010305 |

『皆さんからの意見
見まとめ』の
意見と分類コード

■地域づくりの目標に関する整理について

- ・具体化、詳細化する
- ・不足する内容があれば追加

地域づくりの目標の設定

【議題2】地域づくりの目標について

①グループ検討(75分)

各グループごとに検討

(参加者約8名、ファシリテーター1名、書記1名、県職員2名 計12名)

②グループ検討の結果発表(15分)

各グループのファシリテーターが結果発表

ファシリテーターの統括(井上さん)が結果をまとめる。

議論で出た概要

- ・子育て世代や高齢者などの具体的な対象を捉えた目標設定が必要ではないか。
- ・観光資源を活かした交流を促進し、また、観光客だけでなく定住者を増やすことにつながるような魅力が必要ではないか。
- ・物販だけでない新たな商業を活性化し、沼津の特色づくりをしたい。
- ・地震や津波発生時の避難に不安がある。
橋の安全性に不安がある。



第1回勉強会(沼津駅周辺)の課題

- 女性の参加者がいない。
- ファシリテーターを固定化しないよう要望があった。
- グループ検討の時間が足りないとの意見があった。
- グループ検討の内容が聞こえない。
(傍聴人・報道関係者より)
- 報道関係者が参加者の肩越しに撮影していた。